

1. はじめに

11 月に入ってからテレホートも本格的に寒くなってきた。ここインディアナ州は内陸に位置するためとても乾燥している。気温の変化と乾燥によって 11 月の中旬に喉を傷めてしまった。最後は最終テスト期間だったため乗り越えられたがしっかり予防につなげたいと思った。学内の様子を写真 1 に示す。

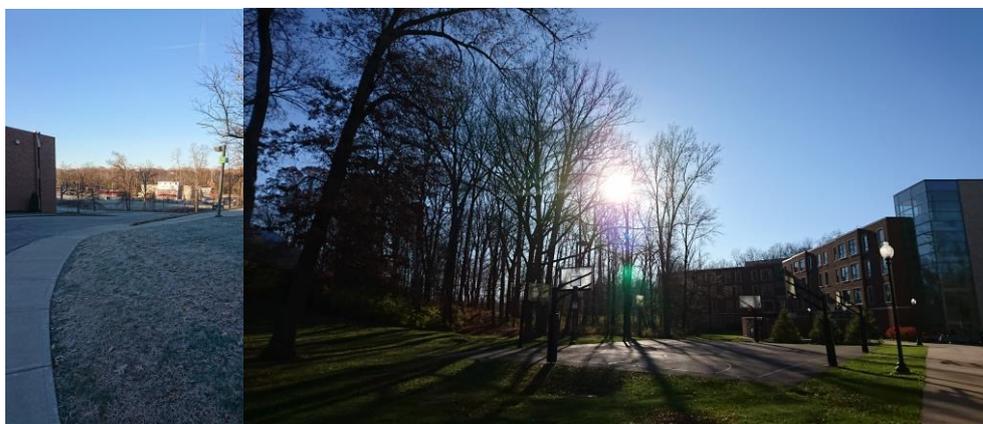


写真 1 学内の様子

2. 生活

2.1 学内での生活

RHIT での 11 月の様子は、秋学期の終わりだということもあり多くの学生が最終テストの為に忙しくしていた。秋学期が終わると約 1 週間の Thanksgiving Break があるため、もう少し頑張ろうという雰囲気があった。秋学期が終わるとドイツや中国からの交換留学生在が母国に帰っていった。秋学期という短い期間だったが同じ交換留学生ということもあり、一緒にイベントに参加したり、食事をしたり交流をしていたのでとてもさみしく感じる。

2.2 授業

・ECE203 DC Circuits

期末試験があり時間も 3 時間設定されている。試験内容も今まで習ってきた電気回路やオペアンプ回路が中心であった。期末試験の前の週には実験のテストも行われ持ち時間 90 分で、配られたテスト用紙に描いてある回路を作成して必要な値を求めるといったものだった。

・ESL 101 Reading and Writing I

期末試験では文章を読んで問題に答えるものと、エッセイを書かせるテストが行われた。私はエッセイを書くことを苦手としていて課題ならば時間をかけて行うことが出来るがテストであれば時間に限りがあるため、他の人よりも書くことが遅い自分にとって苦戦する内容だった。

・ESL 111 Listening and Speaking

期末試験の前には自分の専門分野についてトピックを決めてその内容についてプレゼンを行うということを行った。今まで Ted talk などで学んできたスキルを実際に自分で使ってみるということを目指している。期末試験では Ted talk の音声を読みメモをしてその後問題に回答するというものだった。普段の授業から音声を聞きメモを取るということを行っているが本当に難しい。

2.3 Winter Quarter (冬学期)

冬学期の履修は3科目12単位になっている。以下に科目について紹介する。

・ECE204 AC Circuits

秋学期ではDC Circuits を履修したため冬学期ではその続きであるAC Circuits を履修しようと考えた。今回も週に1回Lab実験が行われる。前に一緒になって実験をしていた人とは違うセッションを取ったため新しくパートナーを見つける必要があった。授業の内容はKITで習っているため理解しやすいが実験は見たことない装置があるため操作の仕方を勉強する必要がある。

・CSSE120 Intro to Software Development

この科目はプログラミングを学ぶ科目である。Pythonというプログラミング言語を使っていて、プログラミングの登竜門的な科目である。この科目では授業中はほとんど作業である。学習は授業が行われる前に映像で学習しておいて授業では演習を行っている。ECEの科目であれば今までの学習が活かされていたがこの科目においては0からのスタートなので不安もあるがしっかり学びたいと思う。

・ESL111 Listening and Speaking

秋学期にもとった科目だが再履修することにした。秋学期の授業では自分の英語能力の無さにふがない思いをした。自分が受けているセッションは少人数であるため授業の進むスピードも速く感じる。また、リスニングの課題も映像の時間も長くなっていて内容も難しくなっている。

2.3 イベント

・Halloween Party

本当は10月末のイベントだがドイツとスウェーデンの交換留学生と一緒にオフキャンパスのパーティーに参加した。みんながいろいろなコスチュームに身を包みダンスを踊っていた。急に参加することとなったため自分は私服での参加となったがコスプレすればよかったと後悔した。

・Thanksgiving

アメリカでは11月の第4木曜日に行われる。私が訪れた家庭には七面鳥 (Turkey)、マッシュポテト、グレービーソース、ベリーソースなどがありとても豪華であった。また、デザートにパンプキンパイやチーズケーキもありおいしくいただいた。その時の様子を写真2に示す。

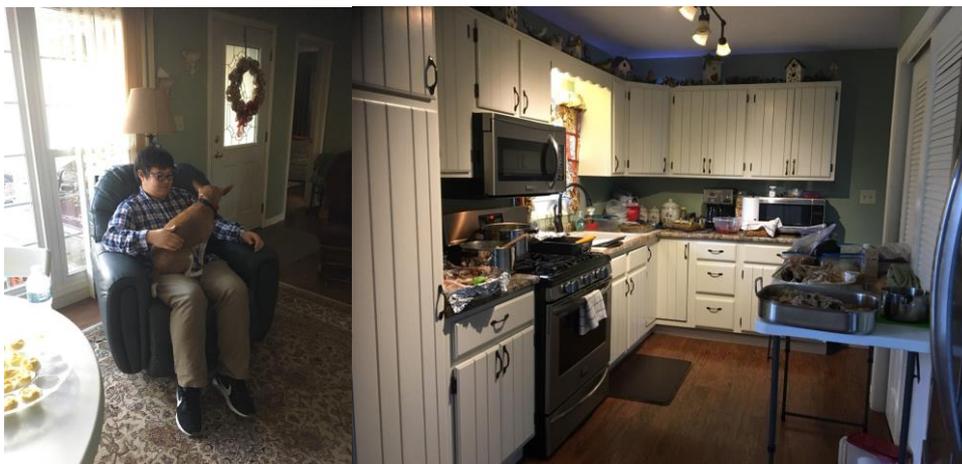


写真2 Thanksgiving

・Black Friday

Black Friday とは日本でいうセールみたいなものである。私の友達が大きなテレビを購入するということだったので一緒についていった。その様子はすさまじいものだった。開店前から長蛇の列ができていて圧倒された。怪我をしないように注意してと言われていた意味が参加することで理解できた。

2.4 クラブ活動

初めのうちは積極的に参加していたが休日の昼間は課題、夜は友達と行動することが多かったためあまり参加できていない。一回しか顔を出さなかったクラブもあるので来月は時間があれば積極的に参加していきたいと思う。

3. 最後に

日本語のクラスに参加させてもらい、日本の大学に紹介するための RHIT 生のプレゼンを見させてもらった。そこではテレホートの歴史や RHIT の歴史、近くのお薦めのレストランなどバラエティにとんでいて面白かった。1 人の学生をピックアップしてその人の 1 日をビデオにするチームや、車の中でインタビューを受けながらその土地に行き紹介するチームなどアイデアがすごかった。参加することで新たな発見があり学べることも多かった。すごいだけで終わらずに実践していこうと思う。自分のバディも以前日本語のクラスを取っていて会話しているときに「この言葉、日本語で何て言うの」、「この言葉のニュアンスは」など積極的に学習している。その姿勢を見て、自分も受け身だけでなく積極的に学ぶ必要があると思い、つたない英語だが積極的に会話に参加しようと試みている。

アメリカでの生活も残り少なくなってきた、アメリカでの生活も長いようで短く感じる。それは、日々の生活が充実しているからだと考える。課題も多くしんどいこともあるが、なかなか経験できないことを経験させてもらっているので良い刺激になっている。残りもあと少しだが、努力していきたいと思う。これで 11 月の報告を終わる。